

令和6年度

高階西小学校だより



学校教育目標 ～力を高め・みんななかよく・さあ、やるぞ～

令和6年4月8日 4月号

一人一人のよさが花開く一年に

校長 齊藤 浩正

入学式や始業式に合わせたかのように、校庭の桜が一斉に咲きそろいました。今年は、天候の影響で、つぼみが膨らんできたなと思うと寒さでしばらく足踏みをしていましたが、ようやく開花しました。

さて、本日は午前中に始業式を行い、2年生から6年生の子供たちが新しい学級の友達や担任の先生と出会い、気持ちも新たにスタートを切りました。また、午後からは、入学式を行い、91人の子供たちが新たに高階西小学校の仲間入りをしました。ご入学・進級、誠におめでとうございます。

令和6年度は、全校児童513人でスタートします。高階西小学校で学ぶすべての子供たちのよさが、花開くような一年になるよう、職員一同教育活動に取り組んでまいります。今年度も子供たちの健やかな成長のために、本校の教育活動にご理解・ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

学校教育目標

たくましく心豊かな児童の育成

力を高め [知]

みんななかよく [徳]

さあ、やるぞ [体]

目指す学校像

「保護者・地域から信頼される
明るく笑顔あふれる学校」



高階西小学校
キャラクター「うさっち」

人間の目はふしぎな目
見ようという心がなかったら
見ても見えない
人間の耳はふしぎな耳
聞こうという心がなかったら
聞いていても聞こえない
頭もそうだ
はじめからよい頭
わるい頭の
区別があるのではないようだ
「よしやるぞ！」と心のスイッチがはいると
頭もすばらしいはたらきを始める
心のスイッチが
人間をつまらなくもするし
すばらしくもしていく
電灯のスイッチが
家の中を明るくもし
暗くもするように

心のスイッチ

東井 義雄

新年度のスタートにあたり、始業式では、東井義雄さんの「心のスイッチ」の詩を紹介しました。「やるぞ」という前向きな心持ちがとても大切です。

子供たちには、得意なことにも苦手なことにも、何事にも前向きに取り組んで欲しいと思います。

心のスイッチ

東井 義雄

人間の目は ふしぎな目
見ようという心がなかったら
見ても見えない
人間の耳は ふしぎな耳
聞こうという心がなかったら
聞いていても 聞こえない
ほんとうにそうだと
腹の底まで聞く人もある
おなじように学校に来ていても
ちつともえらくならない人がある
毎日 ぐんぐんえらくなっていく人もある
今までみんなから
つまらない子だと思われていた子でも
心にスイッチが入ると 急にすばらしい子になる
心のスイッチが 人間をつまらなくもし
すばらしくもしていくんだ
電灯のスイッチが
家の中を明るくもし 暗くもするように